

心理学I(2) 中村 奈良江	履修年次	クラス	単位	学期
	1-4		2	前期
備考：				

### 【講義の概要】

#### 【授業の到達目標及びテーマ】

なぜ、枯れ柳が幽霊に見えるのだろうか？ 効率的な記憶術はあるのだろうか？

このような問題は、心理学の分野で、知覚の過程、記憶の過程として考えられてきた。このような私たちの知識の獲得・統合過程を知ることを目的としている。心理学の専門知識を身につける人にとっても基本的な知識を得るために必要な講義である。

#### 【授業の概要】

授業の中ではそれぞれのテーマに沿った簡単な実験を行ったり、ビデオによる学習を行う。

#### 【第1回】イントロダクション

外界の世界はどのように知覚されているのであろうか<物理的尺度と心理的尺度>

(さまざまな感覚, 知覚の仕組, 遠近法, 錯視図形, 知覚の恒常性)

#### 【第2回】 外界の世界はどのように知覚されているのであろうか<意味の獲得> ビデオ

(多義図形, 主観的輪郭線, 図と地, 文脈効果, 眼球運動, ストループ効果, Top-down処理, bottom-up処理)

#### 【第3回】 外界の世界はどのように知覚されているのであろうか<生理的背景>

(自動運動, 誘導運動, 側抑制, 立体視, 色, 静止網膜像)

#### 【第4回】 外界の世界はどのように知覚されているのであろうか<入力情報としての意味>

(パターン認知, 注意のシステム)

#### 【第5回】 第1回小テスト(知覚領域)

私たちの記憶のシステムはどうなっているのだろうか<記憶のモデル>

(記憶術, 記憶の情報処理モデル, 感覚記憶, 短期記憶, 長期記憶, 系列位置曲線, 記憶の処理水準説)

#### 【第6回】 私たちの記憶のシステムはどうなっているのだろうか<記憶の量的分類と機能的分類>

(作業記憶, 意味記憶, エピソード記憶)

#### 【第7回】 どのように記憶は忘れられるのだろうか<忘却過程の理論>ビデオ

(記憶痕跡消衰説, 検索失敗説, 干渉, 記憶の障害)

#### 【第8回】 知識はどういう構造で貯蔵されているのだろうか

(意味のネットワーク, プライミング効果, 意味の拡散モデル, スキーマ, スクリプト, フレーム, 概念図)

#### 【第9回】 目撃者の記憶は正確か(事後情報効果, 語法効果, 凶器注目効果)

#### 【第10回】 第2回小テスト(記憶領域)

何が学習されるのか1

(条件づけの理論, 学習場面での応用, 欲求と動機づけ, 要求水準, 観察学習)

#### 【第11回】 何が学習されるのか2

(条件づけの理論, 学習場面での応用, 欲求と動機づけ, 要求水準, 観察学習)

#### 【第12回】 脳の機能1(右脳, 左脳の違い, 機能局在説, 全体説)

#### 【第13回】 脳の機能2(脳の障害, 日本人の感覚と脳の機能)

#### 【第14回】 第3回小テスト(学習・脳領域)

### 【テキスト】

「心理学概論」監修：山内弘継・橋本幸 ナカニシヤ出版

### 【参考書等】

必要に応じて随時資料を配布する

### 【成績評価の方法】

成績は授業期間中に行われる3回の小テスト(各30点満点)およびMoodle上の課題の提出状況(10点)による。小テスト問題は、必修問題と選択問題がある。必修問題は1問である。選択問題は領域によって問題数が異なる。問題の形式は選択式もしくは論述式である。適宜出席を取るが、8割以上の出席の場合は、試験の結果が50点台の者にのみ、出席点10点が適用される。それ以外の者には適用されない。

### 【履修上の注意】

